

# たんぽぽだより



2023年 7月号

2023年も半分が過ぎましたね。やっとコロナウイルス騒動も落ち着いてきていますね。内科健診にきていただき木林先生によると、今後 感染症の患者が増えるだろうという事です。

冬に流行るはずのインフルエンザに、この時期にかかった人もいます。それは、殺菌・除菌して全ての微生物が存在できない環境を作ってきて、自分を守ってくれていた微生物(菌ちゃんとしてます)にも大きなダメージを与えてしまい、大事な菌ちゃん達が居なくなったり弱ってしまった所に、強いインフルエンザウイルスが来てしまい、いとも簡単に感染してしまったのです。

コロナ禍の3年間で残したものは、弱い微生物にも負けてしまう弱い人間を作ってしまったということです。

ただし、たんぽぽでは、自分たちを守ってくれている大事な菌ちゃん達に、出来るだけダメージを与えないように自然の物を使い、食事は発酵した物をたくさん取り入れ、腸内環境を整えています。これからも発酵食品を取り続けていきますので、さらに強い子ども達になるでしょう。

もう一つ気をつかなければいけない事は、電磁波(電波・磁波)と言われる目に見えない物によって、病気が治りにくくなってしまいます。

長時間テレビやインターネットを視聴すると、光(ブルーライト)によって脳や目に良くないという事は、たくさんの人が知っている事だと思いますが、光も波長、波です。これも電磁波の一つですので、気をつけなければいけません。またこの電磁波に関しては新しいことで事例がありません、はっきりわかってくるのはこれからなので、わかってからでは遅いのではないかと思います。便利になれば何かの機能が失われるという事も考えられます。

そんなお話を、16日のお話会で話して頂きますので、これから先も健康を守っていきたい場合はぜひ聞きに来てください。子ども達も一緒にどうぞ!

(一般の方からの申し込みが多くなって来ていますので、いっぱいになる可能性がありますので早めに申し込みして下さい)

ゆり組は、自分で着脱しますので、着脱しやすい服の準備をお願いします。

服が小さくなるのは、大きくなった事を感じますので、『大きくなったから、服が小さくなったね』と大きくなった事を感じられると良いですね。

6月の苦情、提案：特にありません

## 今月の目標:夏の遊びを思いきり楽しむ

**つぼみ組【0歳児】**：安定した生活リズムの中で夏の遊びを経験し健康的に過ごす。

**もも組【1歳児】**：一人ひとりの健康状態を把握し、暑い夏を快適に過ごせるようにする。夏ならではの遊びを全身で楽しむ。

**ゆり組【2歳児】**：水や泥遊びに慣れ、夏の遊びを十分に楽しむ。な身の回りのことを自分からしてみようとする。

## 7月の保育内容

### 養護

**つぼみ組**：一人ひとりの健康状態を把握して汗をかいた後は沐浴などで体を清潔に保ちながら快適に過ごせるようにする。一人ひとりの生活リズムを大切にし、柔軟に対応しながら快適に生活できるように配慮する。

**もも組**：休息を十分に取り、汗をかいたら水分補給を行い、こまめに着替えるなど、暑い日を快適に過ごせるようにする。一人ひとりの興味に応じた遊びの中で、保育者と気持ちのやり取りが出来るように配慮する。

**ゆり組**：気温や体調の変化に気をつけ、シャワーで汗を流したり着替えを行う中で心地良く過ごせるようにする。自分でしたいという気持ちを受け止め見守る中で、出来た喜びや達成感を味わえるようにする。好きな遊びを保育者や友だちとじっくり楽しみ、かわりを深めていく。

### 教育

**つぼみ組**：落ち着いた雰囲気の中で安心して食事をとる。一人ひとりに応じて離乳食から普通食に移行する。少しずつ離乳食の味に慣れ喜んで食事をするようになる。保育者や友達のしていることに興味を持ち、真似をすることを楽しむ。手遊びや絵本など、繰り返しの言葉を楽しむ。水遊びや氷遊びを通して、水、氷の冷たさや光にあたる時の輝き、感触を楽しむ。

**もも組**：スプーンやフォークを持って、食べる、衣服の着脱を一人で出来るようにさりげなく援助し、満足感を味わえるようにする。友だちに関わろうとする気持ちを大切にし、こどもの思いを代弁して仲立ちする。ままごと遊びでは友だちとのやり取りを楽しめるよう働きかけ、関わって遊ぶ経験を重ねていけるようにする。自分の思いを伝えようとするときは、先取りせず、言葉を補いながらタイミングよく応え、思いが伝わる喜びを感じられるようにする。水、砂、絵の具など開放感を味わえる素材を用意し、一人ひとりの興味に合わせて楽しめるよう、関わり方を工夫したり、道具を準備したりする。園の畑の野菜を収穫したり、虫を探したりすることを通して、自然物に親しみをもったり、興味が膨らんだりするよう援助する。

**ゆり組**：夏野菜の収穫を通して興味を持ち、苦手な野菜も一口食べてみようとする。パンツの心地良さを知り、尿意を知らせたり保育者に誘われてトイレで排泄をする。快適な室温の中で食事を楽しむ。簡単なルールのある遊びを楽しむ。気の合う友だちと好きな遊びを共有する中で、やりとりを楽しむ。泥や砂、水やシャボン玉など様々な素材に触れ、感触遊びを楽しむ。保育者や友だちと一緒にリズムに合わせて歌ったり踊ったり、体を動かして遊ぶ。